



広報よいた

1月 No. 187 [昭和57年1月10日]

■発行／与板町(代表者与板町長平沢甚九郎) ■電話(025872)代3100 ■編集／与板町広報編集委員会

——広報“よいた”57.1.10発行

— [14] —

アドバイス



早起き健康法

新しい年の目覚めはいかがでしたか。早起きは三文の得というがこの諺は健康法にあてはまっている。人間の体内の細胞数は60兆。その60兆すべての細胞が目覚めるには2時間かかる。

あなたの朝の光景はどうですか。ぎりぎりまで布団をかぶつて寝ており、やつと起き、数秒で顔を洗い、目にもとまらぬスピードで朝食をすませて出勤する。これでは体にいいわけなし。長寿の人は若い頃から早起きの習慣をつけているそうです。

早起きして朝をゆったり過ごす人と、起床後數十分でとび出す人とは何十年後には、健康の上でも、仕事の上でも格段の差がつくこと明らかです。

A black and white photograph showing a skier from behind, silhouetted against a bright, overexposed sky. The skier is in a dynamic pose, leaning into a turn. In the background, a ski lift with several chairs is visible against a dark, cloudy sky. The foreground is a snowy slope.



卷之三

ゲレンデでシユブールを

待望のシーズン到来という所ですが、「昨年はあまり活動しなかつたので、今シーズンはバッチリ滑ろうと思っているんですよ」と語る会長の石丸さん。

会の発足は昭和五十五年とまだ日は浅いのですが、小学校のスキー教室も盛んにやつていますし、又町にもスキーや好きな人が沢山いるので、ウインターボーツの一つとして会を作つ

△ あけましておめでとう
ございます。
△ 穏やかな正月をむかえ
“今年はなにかいいこと
ありますな”という感じ
です。

△ 今月号は、小・中学生
の皆さんから、将来の与
板町について語つてもら
いました。子供達の理想
とする町が実現するよう
努力したいものです。

△ 今年も広報よいたをご
愛読下さい。ご意見をお
待ちしています。



= 人 口 =
(12月31日現在)



平沢甚九郎

与板町議会議長

町民の皆さん新年おめでとうござります。ご家族お揃いで良いお年をお迎えになられたことを心より祝福申し上げます。

昨年は国、地方を問わず世相誠に厳しく特に当町鍛造業の衰退は目を覆うものがございました。一日も早く回復と繁栄の兆しが見い出せるよう関係各位と共に対策に努めている所であります。当町の予定した事業は順調に進み勤労青少年ホーム、スポーツ広場、附随する夜間照明の完成は町民のスポーツの向上と健康増進に活用される事を期待し一方、交通関係では塩之入隧道東橋などの竣工により長年の不便を解消することができます。この事は国會議員の諸先生をはじめ県議会の先生生

方のご尽力と町民各位の深いご理解と献身的なご協力、ご支援の賜と厚く感謝申し上げる次第であります。新しく迎えた昭和五十七年は、國の行、財政改革が地方自治体に極めて大きな影響を及ぼすものと予想されます。然し乍ら当町の計画は休むことなく推進していかなければなりません。

私達議会議員は、町当局と相計りうるおいのある豊かな町造りに努める所存であります。どうか皆さんの一層のご支援ご協力をお願ひ申し上げます。

最後に皆さんのご健康とご繁栄を祈念致しまして年頭のご挨拶といたします。

そんなわけで、十二支も一種の“生活美学”とみれば、なかなか趣深いもの。犬の特徴にあやかって、ことしもすばらしい年にしたいのですが「一犬虚に吠ゆれば万犬実に伝う」のことわざもあります。

自分の目で事実を見定め、自分の心で判断するように心がけ、軽々しい付和雷同は避けたいものです。



平沢甚九郎

新しい年を迎え、つつしんで町民の皆様の御健勝を御慶び申し上げます。昨年は、国内外ともに多難な年であり、特に世界的な不況の余波が資源の乏しいわが国にも及び、長びく経済の低迷となつて、当町の産業や生活にさびしい影響を与えましたが、今年こそはこのような状態から早く脱却するよう衆智を集め町民の皆様と共に力を合わせ努力して参りたいと思います。新しい年を迎えて、行政部門においては人心の一新をはかつて町民サービスの向上につとめます。伝統の地場金物産業の再生の方途を求めると共に、産地に立脚する内発産業の振興を計り、併せて外部からの企業の誘致に努力を致します。さいわい昭和五十八年の都計画線引の変更時に合わせ、東京から日産系の自動車部品の供給メーカーである、寿やフロンテ株式会社が当町へ工場建設の意向が固まりつつあり与

板町の産業構造に新しい分野が開けるものと期待しています。又財政再建をめざす行政改革が進み国家財政のきびしい中ではありますが、融雪パイプの布設を含め公共事業の導入による環境整備も進め、来るべき高速時代の到来に対応して当町への国道誘致運動も議会の協力を得て積極的に推進し首都圏との緊密交流を深める方策を講じ、更に住宅用地開発の計画の中に人口増加による二十一世紀に向かつて活力溢れる豊かな町づくりをめざします。

地方の時代といわれ乍らも自治体はきびしい試練の時期に遭遇しておりますが、与板町の明かるい将来のため町議会を始め、町民の皆様の一層の御理解と御協力を切にお願い申し上げます。

皆様の御健康と御多幸を御祈り申し上げ年頭の御挨拶といたします。

新年の御挨拶

ことしは戌年

イヌ



いろはガルタの一枚目は、「犬も歩けば棒(ぼう)にあたる」。

これは「物事をなそうとする者は、それだけ災難に遭うことも多い」という意味とも、「やつておつには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味ともいわれています。

今年は、戌(イヌ)年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし——といきたいものであります。

犬といえば、知恵・勇気・誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲苑」に登場するのも

そういう犬たちです。また、遠く「日本書記」には、白犬が倒れた主人を守つて餓死するまでそばを離れず、その心を哀れんだ天皇の命で、主人と共に墓に葬られたという、忠犬ハチ公の先祖みたいな話が記録されています。

そんなはるかな昔から、犬は人間の大切な“協力者”だつたわけです。いまも狩猟犬、牧羊犬をはじめ、新しいところでは盲導犬、救助犬、警察犬などとして優れた能力を發揮しています。

しかし、今日では犬の主な役目は愛玩用。“ペット元禄”と呼ばれるほどで、犬専用の日用品やビタミン剤、シャンプーまで店頭に並んでいます。ところで、妊娠婦の帯祝いに「戌の日」が選ばれるように、犬は安産、多産の象徴になっています。では、イヌ年生まれの人はどのくらいいるかといいますと意外に少なく全国で八百七十四万人（総理府統計局調べ）。日本の総人口を十二支別に分けてみると、一番目になります。ちなみに最も多いのがサル年生まれの人で、約千三十六人、いちばん少ないのがトリ年の約八百三十六人です。

そんなわけで、十二支も一種の“生活美学”とみれば、なかなか趣深いもの。犬の特徴にあやかって、ことしもすばらしい年にしたいのですが「一犬虚に吠ゆれば万犬実に伝う」のことわざもあります。

自分の目で事実を見定め、自分の心で判断するように心がけ、軽々しい付和雷同は避けたいものです。

いつまでも
魚つりができる
手釣りであつてましハ

与板小学校六年
長谷川和正

三橋小学校六年
長谷川



長谷川和正

ぼくは、与板町が公害のない町になつてほしいと思つています。ぼくたちは、国語で、田中正造の伝記を勉強しています。田中正造は、足尾銅山の鉱毒の被害をなくすために、勇気をもつて、最後まで戦つた人です。こんな公害は、今の日本にもたくさんあります。イタイイタイ病、四日市ゼンソク、水俣病、それに、この新潟県の阿賀野川の第二水俣病などです。これらの中には、人を死においやつたり、一生ねたきりにするようなこわい公害もあります。ぎせいになつているのは、人間だけではあります。川や木なども、たくせん。

さん公害のために、させいになつてゐます。ぼくは、魚つりが、とても大好きです。与板で魚つりをする時は、だいたい旧黒川でやります。旧黒川は、都会にある川とちがい、川の水もきれいだし、魚もたくさんいます。いつも、友達といって、とても楽しいです。魚つりをするには、きれいな水、いきいきしている魚がないとできません。旧黒川は、そのことがそろつてるので、魚つりができるのです。もし、都会の方に生まれていたら、ろくに魚つりも、できませんでした。しかし、ある日、ぼくとお父さんとで、長岡

の方へ、魚つりに行きました。いくらやつても、まつたくつれません。ぼくのうでが悪いのかな、と思つたけど、ちよつと上流の方へ歩いていくと、大きな工場がありました。その近くなら、きたない水が、川に、流れだしていまし

か。工場ではもちろん、きれいな水や、けむりを出さないようにしてもらいたいです。ぼくたちは、どうしようか。ぼくたちのできる第一のことは、これ以上自然を、けがさないということです。川にゴミを捨てたり、草や木をそまつに、つかわないということです。「自分の家だけきれいなことよい」と考えていたのではダメなのです。学校内でもそうです。ろうかを走ることや学校のきまりを、やるということは、学校の公害です。教室で、勉強している人のことを考えず「自分が遊びに行きたい」ということだけ考えるから、走

つたり大声を出すのです。自分のことだけでなく、周りの人の、めいわくを、考える気持ちに、なってほしいです。田中正造は、渡瀬川沿岸の人達のくらしと自然を守るために、国會議員をやめ、農民といっしょになつて戦いました。子供も大人も自分かつてをしないで、みんなのくらしや自然を、守るためにがんばればこの与板町も、公害のない町になると思います。

与板の町は
こんな町に
なつてほしい

与板小学校六年
八下未
美之



どのようになっているのでしょ
うか。私は、「与板の町は、こんな町になつてほし
い」ということで、次のよ
うなことを考えました。
事務のない丁

ではないでしょうか。このようなことをするにも、私は達が、気をつけるように、しなければなりません。そうすれば、事故がおきたということを聞かなくなると思います。それから、道路をたくさん自動車が走っています。また、路上に、よく車が駐車しているのを見かけます。もし、自転車に乗っている人が、駐車してある自動車に気づかず、衝突したら、大事故になるでしょう。そのためにも、警察の方のきびしい取り締まりをお願いしたいと思います。

のは、小さい子供達が、安
全に、楽しく遊べるような
所を造つてもらいたいと思
つたからです。環境は、清
風園のような、緑にかこま
れた所で、遊び器具の安全
な使用を、前提に、より樂
しいアイデアで、小さい子
供達や大人までが、楽しめ
る所にしてほしいです。休
日などは、親子揃つて遊び
に行け、親が、子供の行動
に気を配ることなく、安心
して、見ていたら、これ
ほどすばらしい、遊び場は
ないと思います。

このようにできれば、与
板の町も住み良い町になる

耳鼻科がなく、他の病院まで行かなければならぬということです。ですから、便利な総合病院があつたら、どれほど住み良いでしょう。ですが、人口が少ないので、そのためにも、新しい産業を取り入れ、与板町の発展化を目指せばいいと思います。とにかく、住み良い町、住みたい町、住んだら、与板の町から、離れたくなくなるような、生活環境を皆さんで、築いていかなければと思ひます。

与板町には、小学校、中学校、高等学校の三校がありますが、その中で、中学

る予定だそうですが、まだ
はつきりしていないようで
す。私は、小学六年ですが
中学卒業まで、一年でも、
二年でも、新校舎で、勉学
にはげみたいと思つていま
すが、他の友達なんかも、
同じ気持ちだと思いますの
で、一日も早く、工事を始
めてもらいたいと思いま
す。

私たちはこの町にはなに町に

卷之三



与板町の教育

与板中学校三年

私の願う
故郷の姿

故郷の姿



新しい年を迎えるにあたって、私達の故郷—与板町の姿を、少し考えてみたいと思います。

与板町にも、いろいろな公共施設がつくられました。勤労青少年ホームや、スポーツ広場。また、通勤通学で活気づく別院橋の周辺が見違えるように整備され、あの大きな縄文式土器の姿も、与板の歴史の古さを物語るものとして、それぞれ人々の目を楽しませてくれています。これからもういろいろな設備が整えられていくことでしょう。中でも、与板町独特の雰囲

言いたい事がはつきりとしませんが、とにかく自然を大切にしてほしいと思います。これからも……。与板町は自然に恵まれた素敵な町です。雄大な信濃川の流れ、広々と続く田園風景、西山一帯の豊かな緑。山、川、平野と三拍子揃った私達の故郷なのです。与板に住める私達は幸せ者ですね。こんなにも自然環境に恵まれているのですから。まあ、生活面全体から見ると不便な部分もあるでしょう。でも、人間と自然”この切つても切ることのできない

関係から見ると、廃棄物などで汚れた空気を吸って生活している可哀相な人達に比べれば、本当に私達は幸せ者なのです。みなさんもそう思いませんか。だからこれからも自然の恵みを生かした事を、いろいろとやつていただきたいと思います。

うもないようですね。でも先のことは、その時になつてみなければわかりません。これから人口が増え、町が発展すればいいのですが……私は、世の中の仕組とうものをまだ理解していないので、現在の与板町がどんな状態であるのかよくわかりません。でも、鍛冶屋さんの景気が思わしくないという事を、よく耳にするのでわかります。不景気なのは、今どこの場合でも大半同じ状態だと思いますが、与板の伝統産業であるがゆえに鍛冶屋さんの不景気をよく聞くのでしょうか。

与板の金物産業が伸びるという事は、与板の産業の發展にもつながっていると思います。ですから、是非一日も早く景気が回復してくれるよう祈っています。

今年は、私にとって卒業と受験を三月にひかえ、大変な年になりそうです。この与板町もたとえて言うと私達受験生と同じ立場かもしれません。ともかく、それはどうあれ、私にとって、私の家族、仲間、そして与板のみなさんと与板町について、幸多き年であることを願っています。

わがまち

豪 雪(昭和三十六年)



文

芸

欄



「あゝ、雪ですか...」
「はい。この下で暮して居ります。」
「どこを歩くの...」
「道路に面して、雁木というものがあ
りまして...」
「雁木...? 向い側はどうやつて...」
「それはすごい。まあ、しっかりやつ
て下さい。じゃあ、これで...」
「雪の山にトンネルを掘りまして...」
「九州出身の大先生に批評して
いた時の話です。お察し下さい。」
「それで、北新町から南を望んだ構図は、風間
匡英さんの写真からいたいもので
あります。」
「道路に面して、雁木というものがあ
りまして...」
「それはすごい。まあ、しっかりやつ
て下さい。じゃあ、これで...」
「雪の山にトンネルを掘りまして...」
「九州出身の大先生に批評して
いた時の話です。お察し下さい。」
「それで、北新町から南を望んだ構図は、風間
匡英さんの写真からいたいもので
あります。」

わがまち

豪 雪(昭和三十六年)

詩

雑草 藤井ヤイ

大地に根張り
水をあびせるような
梅雨空の下で
勢いよく立ちあがる。

照り返す光に
押し合った緑もくびれ
深く息を吸い込みながら
わずかな雪を

乾いたくきにころがす。
そして末枯れて吹く風は
難儀なほどに水を運んで
息苦しかった過去は
未來の感覚にうつり
新たな緑を甦らせるために
黒土の中で
いきいきと動き始める。

短歌

百八つの鐘かにかくに聞き終り七度迎ふ戌の新春

与板俳句同好会
長田芯字
吉岡みよ

ひろば



聖火台が
河川公園に移転

▲河川公園に設置された聖火台

新潟国体の年に、与板町体育協会が作成し、町に寄附した聖火台が、役場脇の駐車場から別院橋のすぐ脇の河川公園広場に移されました。

旧消防本部前(現在の石塚スーパー)から役場脇、そして河川公園と2度目のひっこしとなった訳ですが、今度は立派な土台の上にデーンと置かれ、いこいの広場にマッチし、町のシンボルとなっています。

文

新年雜詠

初詣堂しんぐと神宿る

元朝の挨拶はみな敬まいて
老母の煎薬たぎる初厨

新世帯年賀に問えば杉匂う
朝晴や手締初荷の法被濃し

着ぶくれて年賀の席に落つかず
湯気分けて雑煮の餅を盛りにけり

鍛冶二代仕事始めの剣造くる
初空や大社の屋根の燐きて

まわし読む炬燵の上の賀状かな
初日記つけて今年を占いり

湯気分けて雑煮の餅を盛りにけり
まわし読む炬燵の上の賀状かな

着ぶくれて年賀の席に落つかず
湯気分けて雑煮の餅を盛りにけり

鍛冶二代仕事始めの剣造くる
初空や大社の屋根の燐きて

まわし読む炬燵の上の賀状かな
初日記つけて今年を占いり

</div

1982年1月

'81 Xmas ダンス・パーティ

~12月19日(土)~



高橋九右門氏



高野広一氏

高橋助役の任期満了に伴う辞職により、去る十二月に行われました第四回定例議会におきまして、高野広一氏が議会の同意をもつて助役に選任されました。高野氏は、与板町役場職員、そして与板町外二ヶ町村水道企業団の局長として永年勤められ、行政マンの現職として助役に就任されました。今後共、町行政発展のためによろしくお願い致します。

高野広一氏就任

▶昭和三十八年の三・八豪雪



▶雪のない今年の正月



新潟県の最低賃金が改正

県下のすべての労働者に適用される新潟県最低賃金は

- 一般労働者 1日／2,895円
 - 時間給労働者 1時間／362円
- <効力発生日> 56年10月12日
- 食料品製造業 1日／3,186円
 - 出版・印刷・同関連産業 1日／3,356円
 - 卸売業・小売業 1日／3,110円
- <効力発生日> 56年12月12日



▶八幡様にある道祖神の石碑

むかし、まだ与板の町が淋しい村の頃でした。村に住む一人の猟師が、春もうららかな或る日のことでした。猟も終わり八幡平の都野の明神様の境内で一服しているうちに、うつらうつらとなつて眠ってしまいました。そのうちにあたりがそうぞうくなりましたので、ふと目がさめました。

そこで猟師は寝たふりをしてじっと聞いておりました。神々が御出ましになり何やら相談を始められたのです。そこで猟師は寝たふりをしてじっと聞いておりました。神々は何々町の某の（結婚）にしたらどうか。又、いやいやそれよりも

こちらの娘がよいのではないかと相談がなされました。神々は相談が終わると、又もとの奥の院におかれになりました。世の中の結婚と言ふものは、神々が決められた因縁によって結ばれるものだとつくづく思つたそうです。

註 この話は縁結びの神の道祖神と八幡宮の神、神功皇后（氣長足姫命）の皇子出産の故事にあやかつた伝説と思われます。

道祖神は都野神社の正面左側の金山神社のとなりにあります。碑文は貫名苞（一七七八—一八六三）の功皇后（氣長足姫命）の皇子出産の故事にあやかつた伝説と思われます。

縁結びの神々

(7)

